

施工手順書③-4

扉・金物の取付

片引き戸(床付レール)

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 片開き戸、親子戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェト口

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



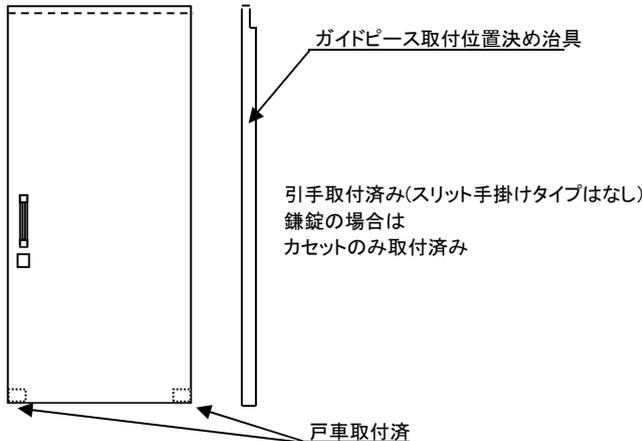
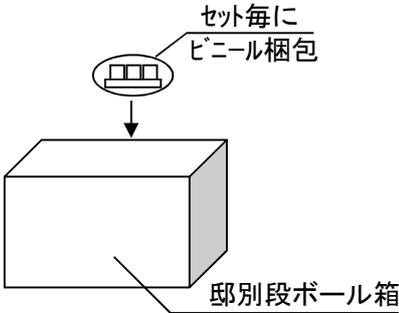
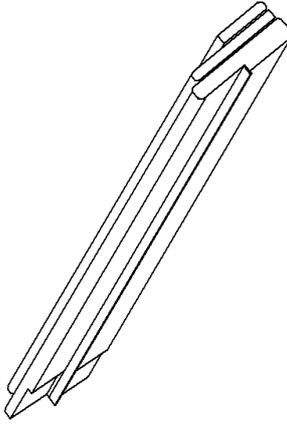
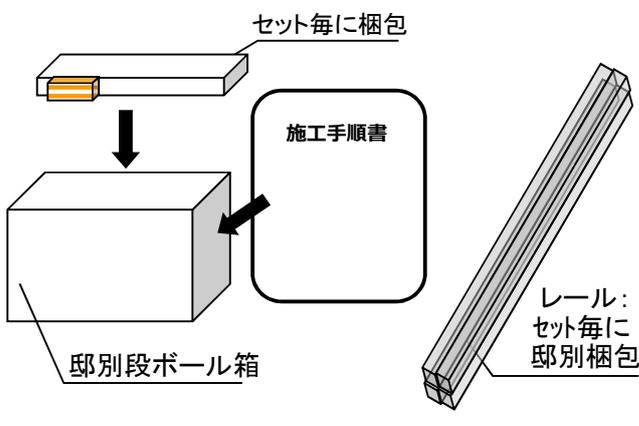
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□納品形態

扉と同時に納品されるもの	
建具	建具金物箱
 <p>ガイドピース取付位置決め治具</p> <p>引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) 鎌錠の場合は カセットのみ取付済み</p> <p>戸車取付済</p>	 <p>セット毎に ビニール梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>
下地枠と同時に納品されるもの	
下地枠	下地金物箱とレール
	 <p>セット毎に梱包</p> <p>施工手順書</p> <p>邸別段ボール箱</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p>

□金物箱の梱包内容

下地金物箱		片引き戸 (床付レール)	アウトセット片引き戸 (床付レール) エンド枠無	アウトセット片引き戸 (床付レール) エンド枠付		
床付レール(面付)  1本(付属ビス含む)	床付レール(埋込V) 	1本	1本	1本	※「面付」or「埋込V」は ご注文の際に選択してください	
ガイドピース 		1個 (D=28mm)	1個 (D=35mm)	1個 (D=35mm)		
下部戸当たり 		-	2個	1個		
鎌錠受け ※「錠付」を注文の際に納品されます 		1個	-	1個		
アウトセット引戸錠受け ※「錠付」を注文の際に納品されます 		-	1個	-		
調整ビス【標準】 スペーサー1ヶ付 	コースレッドビス【準耐火】 	14本	-	14本		

建具金物箱		片引き戸 (床付レール)	アウトセット片引き戸 (床付レール) エンド枠無	アウトセット片引き戸 (床付レール) エンド枠付		
鎌錠  芯棒は1番長いものを使用		1セット	-	1セット		
アウトセット引戸錠 		-	1セット	-		

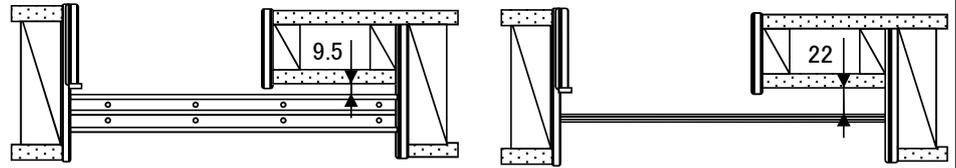
床付レールの取付

右表のとおり各納まりに応じた金物を上取付けます。

【注意事項】

※右表はクロス仕上げの場合の寸法を示します。塗り壁時を含め、取付寸法は邸別(開口毎)の納まり図でご確認ください。

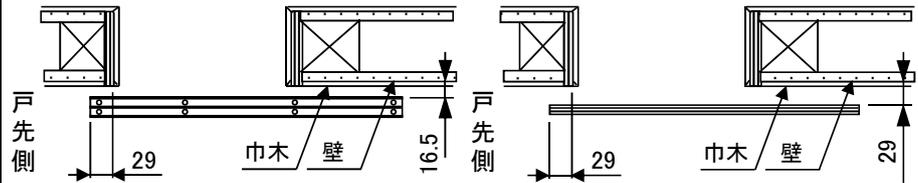
片引き戸(床付レール)



床付レール(面付き)の場合

床付レール(埋込V)の場合

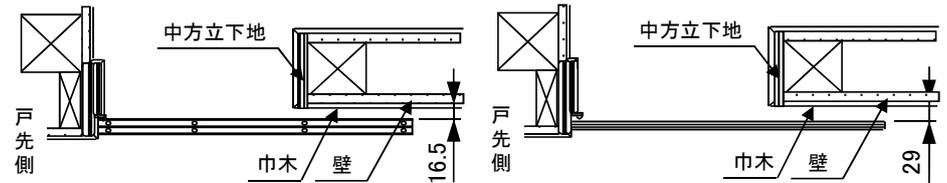
アウトセット片引き戸(床付レール)エンド枠無し



床付レール(面付き)の場合

床付レール(埋込V)の場合

アウトセット片引き戸(床付レール)エンド枠付き



床付レール(面付き)の場合

床付レール(埋込V)の場合

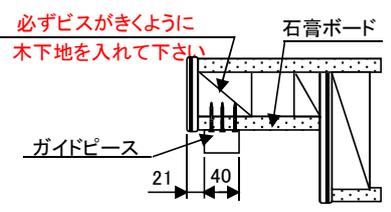
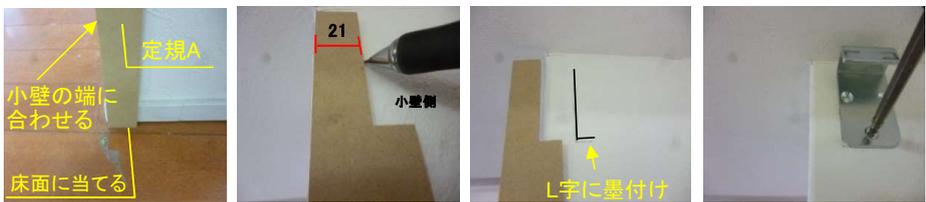
ガイドピース・下部戸当りの取付

扉と同梱されているガイドピース取付定規を床仕上面に当て、右表の納まりごとに所定の位置に合わせます。その際、欠込み側を壁の方に向けてL字型に墨をつけガイドピースを当ててビス固定を行います。

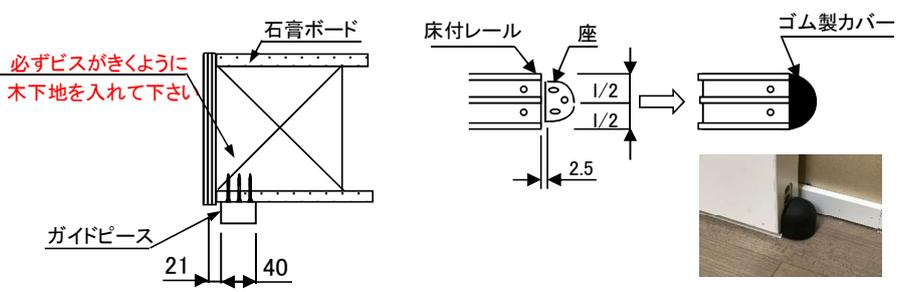
【注意事項】

ガイドピース取付定規は納まりにより形状が異なります。
 定規A → 片引き戸
 定規B → アウトセット片引き戸

片引き戸（床付レール）



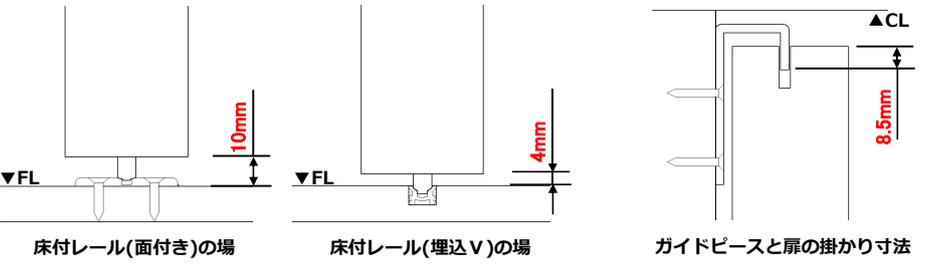
アウトセット片引き戸（床付レール） エンド枠無し・エンド枠付き共通



アウトセット片引き戸(床付レール)の場合、床付レールの見込み方向の真ん中に端部から2.5mm離し、下部戸当りの座を固定し、ゴム製カバーを取付けてください。

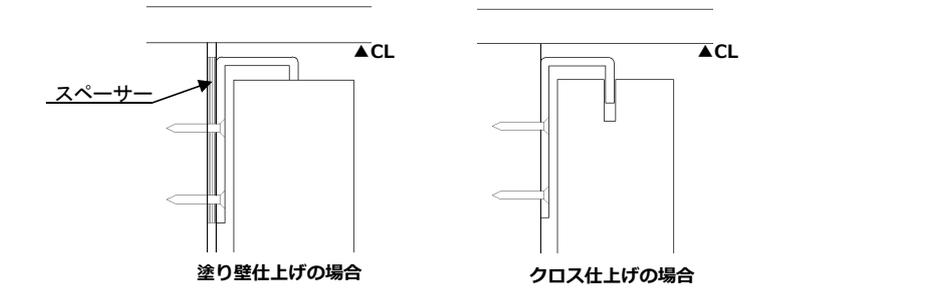
【注意事項】

戸車の初期設定は扉を吊り込み易くする為、車輪が引っ込んでいます。扉吊り込み後は床と扉のクリアランス寸法、及び扉上部木口の溝にガイドピースの掛かり寸法が右表となるように戸車を調整してください。戸車の調整 → 後頁7ページ参照



【注意事項】

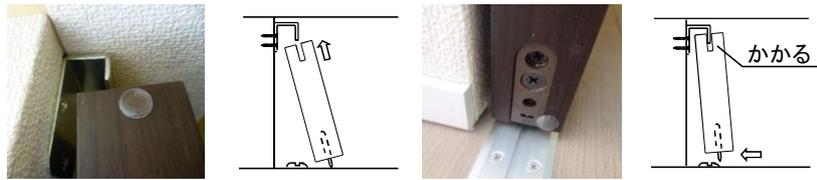
塗り壁仕上げの場合、塗り壁施工前にガイドピースの裏側にスペーサーを取付けて共に固定してください。スペーサーは塗り厚3mmを想定しております。(取り付け位置はクロス仕様と同じ位置です)



扉の吊り込み

ガイドピースに建具上部木口のガイド溝を差し込みます。
 扉を持ち上げながら垂直にしていき、扉の戸車を床付レールの溝に乗せます。

【扉をガイドピースに差し込む】



戸車にて調整する際は、上下調整は真ん中のネジ、左右調整は下側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

【注意事項】

ガイドピースがと扉上部木口の溝に完全にかかっていることを確認してください。→前頁6ページ参照

【戸車の調整】



【調整範囲】

上方向6.0mm

下方向0.0mm

左右方向±2mm

クロスが乾いてから受け金物部分(鎌錠付の場合、鎌錠受け部分)にカッターで切り込みを入れ、受け金物を加工部に取り付けます。

【鎌錠受けの取付・調整】



塗り壁の場合は、塗り仕上げ前に鎌錠受けを取付けてください。

鎌錠受けで調整する場合は、上下調整は上下の固定ビスを緩めて、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。隙間の調整は内側にあるビスをまわして調整を行ってください。



芯棒が種類入っているので、一番長い(32mm)もので錠を取付けてください。(短い芯棒を使用するとかかりが悪くなります)

【片引き戸錠の調整】

1番長い芯棒を使



扉にアウトセット引戸錠を取り付けた後、受け金物を中方立下地の角部と扉に取り付けたアウトセット引戸錠の高さ位置に合わせ、付属ねじで固定します。

【アウトセット引戸錠の取付・クロス仕上げの場合】



塗り壁の場合は、受け金物を中方立下地の端部から3mm出し、所定の取り付け高さ位置に合わせ、付属ねじで固定します。

【アウトセット引戸錠の取付・塗り壁仕上げ】



受け金物の取付高さ位置は標準H24、27の場合
 FLから1003mm

塗り壁の場合、CHが1550mm以下又はお客様からのご指示等により引手センター位置が変更になった場合は、FLから引手センターまでの高さより47mm引いたところを受け金物の下端として取付高さ位置を決めてください。